

千葉市美術館企画展「おとぎの国のモードをさがして／Fairy Tale MODE」 ～「モード」という視点からおとぎ話を多角的に読み解く初の試み～

千葉市美術館では、企画展「おとぎの国のモードをさがして／^{フェアリー テール モード}Fairy Tale MODE」を開催しますので、お知らせします。

本展は、ヨーロッパを中心に広がった「おとぎ話」の豊かなイメージの変遷をたどり、おとぎ話のイメージの中に息づく「モード」を19世紀から20世紀の挿絵本を中心に美術・デザイン・ファッションの観点から多角的に読み解くものです。

開催に先立ち、6月26日（金）14：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

1 会期

令和8年6月27日（土）～8月30日（日）

休室日 6月29日（月）

7月6日（月）、13日（月）、21日（火）、27日（月）

8月3日（月）、10日（月）、17日（月）、24日（月）

2 会場

千葉市美術館（中央区中央3-10-8）

3 主催

千葉市美術館

4 ポイント

◆「赤ずきん」、「シンデレラ」、「眠れる森の美女」…「おとぎ話」の世界を美術、デザイン、ファッションで読み解く初の試み

「おとぎ話」は17世紀フランスの宮廷サロンという洗練された社交の中で民話をベースに女性たちによって語られ、ひとつの流行として定着しました。その後も文学だけでなく、挿絵、美術、舞台、ファッションを通しておとぎ話は流動的に変化し、繰り返し新たなイメージを獲得してきました。「おとぎ話」を規定するイメージの中でもとくに「装い」は重要な要素です。本展では赤ずきんの「赤いフード」やラプンツェルの「金髪の長い髪」など登場人物のドレス・コードに着目し、挿絵本や衣装など約200点の作品・資料で多角的に紹介します。「おとぎ話」の視覚的イメージをファッションの様式や美意識としての「モード」という視点から読み解く展覧会は初めての試みとなります。

◆「おとぎ話」の世界をいまに伝える、19世紀から20世紀の挿絵本の数々を紹介

19世紀から20世紀にかけてヨーロッパで作られた挿絵本は、当時流行していたドレススタイルなどが反映され、物語の中の「装い」やスタイルを視覚的に捉えるうえで重要な資料となっています。本展ではアーサー・ラッカムやウォルター・クレインらによる「シンデレラ」や「眠れる森の美女」など挿絵本90冊を展示し、展覧会の大きな軸に据えて構成します。

◆「おとぎ話」で重要な役割を担う「装い」をドレスなどファッションで紹介

「おとぎ話」のなかには「装い」が重要な役割を果たすものが多くあります。多くのおとぎ話を語り継ぎ、発展させてきた王侯貴族の女性たちを象徴する、18世紀ロココ時代の宮廷服や、舞踏会へ向かうシンデレラのように新時代の女性を勇気づけたクリスチャン・ディオールのドレス、毛皮をまとうことで別の存在へ変身するおとぎ話を想起させる毛皮のコートまで、実際の衣服も展示することで、おとぎ話の世界を立体的にとらえる展示となります。

◆「おとぎ話」と関わりの深いバレエ資料や、特別上演も

おとぎ話を表現してきたメディアの中でも、最も「モード」と強く結びついているのがバレエです。20世紀初頭にパリを中心にヨーロッパを席卷したバレエ・リュスによる「シェヘラザード」では、レオン・バクストが手掛けた衣裳が当時のファッションに大きな影響を与え、オリエンタリズムの再流行を促しました。本展ではバレエ・リュスやポリショイ・バレエでの「眠り姫」、「シンデレラ」などにまつわる資料や1920年代のレオン・バクストによる「青い鳥」の衣裳を展示します。8月16日(日)には「青い鳥」の再現衣裳を着用してのバレエも特別上演します。

5 観覧料

一般 1,500円(1,200円)、大学生 1,000円(800円)

※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料

かつこ内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は、ローソンチケット(Lコード 35548)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて6月26日(金)まで販売(6月27日(土)以降は当日券販売)

※金・土曜日の18:00以降はナイトミュージアム割引により観覧料2割引

6 関連イベント

講演会やワークショップ、担当学芸員によるショートレクチャーなどを開催します。(詳細は別紙参照)

「おとぎの国のモードをさがして/Fairy Tale MODE」披露説明会

1 日時

6月26日(金) 14:00から

2 場所

千葉市美術館 8階展示室

3 内容

展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明します。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 山下 彩華

広報担当 磯野 愛

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

メール isono@ccma-net.jp